

バイオサイエンス特別実験 (8単位)

担当者氏名 バイオサイエンス専攻全担当指導教授

◆学習・教育目標

バイオサイエンス専攻は、地球上すべての生物、動物、植物、微生物を対象とし、その複雑で高次な生命現象を、新規の分子生物学的手法を駆使して、個体レベルだけでなく細胞レベル、分子レベルで総合的に解明し、バイオサイエンスとその関連複合領域の学術研究の進展に貢献することを、研究・教育目的としている。本特別実験は、この目標を実現するために各特論で行われた特論・実験を基に、実際の論文作成や学会発表のための実験の立案・実施・評価についての直接指導を行い、実験系構築を目指す。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

微生物分子遺伝学 植物細胞工学 植物遺伝工学 動物分子生物学
動物発生工学 生体機能分子学

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	各特論における成果発表関連領域の調査。	成果発表にあたり、関連領域の論文を調査する。成果発表モデルになる邦文を選択する。	今までやってきた実験・研究結果を整理する。前もって、参考文献を熟読する。
2	論文・学会発表の骨格をつくる。	論文・学会発表の骨格になる図表を選択する。	
3	論文・学会発表のために必要な実験を計画する。	結果(表、図)作製のために必要な実験系を確立する。	
4	結果に即した論文・学会発表構成。	結果に即して、考察、紹介の論旨を構成してみる。	
5	実験系の再評価をおこなう。	論文・学会発表構成上の実験系の評価を行う。	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

実際の発表、論文をもって評価とする。

◆その他受講上の注意事項